

6 ごみを減らすくふうを考えよう

4年 3組 名前

山田 たろう

ごみを減らすために、それぞれの場面でどんなことができるか考えてみよう。

商品を選^{えら}ぶとき、買い物をするとき

かんきょうにやさしい商品をえらぶようにする。

- ・リサイクルやリユースができる商品
- ・リサイクルされたそざいで作られている商品
- ・ごみになっても自ぜんにやさしい商品（自ぜんに分かいして土になるなど）

使いすてのものはできるだけ使わないようにする（紙コップ、紙ざらなど）

ひつようい上にもものを買わないようにする。エコバッグやマイボトルを使って、ごみになるレジぶくろやようきが出ないようにする。

ものを使うとき

ものを大切に、長く使うようにする。

せんざいなどは、つめかえ用商品を使って、本体ようきを何度も使うようにする。

食べ物はこのさず、きちんと食べ終わるようにする。

家具や家電などこしょうしたとき、しゅう理をして使いつづけるくふうをする。

捨^すてるとき

いらなくなったものも、リサイクルショップやフリーマーケットを活用して、ほしい人に使ってもらうようにする。

ごみをだすときは、ルールをまもってリサイクルにきょう力する。

- ・ペットボトルはキャップとラベルをとり、あらってつぶして出す。
- ・古紙は、しゅるいべつにきちんと分けて出す。

スーパーなどのリサイクルボックスをせっきょくてきにり用する。

屋外で出たごみは、家にも持ち帰ってすてるようにする。